

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	大学における教員の現職教育への支援			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者
事業開始年度	平成21年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	教育人材政策課		教育人材政策課長 後藤 教至
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	教育職員免許法			関係する 計画、通知等	第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定)		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費		
施策	1-3 魅力ある教育人材の養成・確保						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-1_3.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	全国各地の教員や外部人材等が免許状更新講習を円滑に受講できる機会を確保するとともに、教師として教壇に立つ上で必要な知識技能を刷新するための質の高い学習コンテンツが継続的に提供される環境を構築する。						
現状・課題 (5行程度以内)	平成21年度から導入された教員免許更新制においては、年間約10万人が受講可能な免許状更新講習を開設する必要があるが、山間・離島・へき地など移動困難のある地域、希少免許種など受講者数が僅少となる教科等については、十分な数の講習が開設されない恐れがある。また、免許状更新講習が、その時々で求められる教員として必要な資質能力を保持するため、定期的に最新の知識技能を身に付けるためにふさわしい内容が担保されるよう、その在り方について不断の見直しが必要である。このため、更新講習の内容を高度化し、全国各地域で質の高い更新講習の円滑な受講環境を確保する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	山間地離島へき地等、特殊要因教科・科目、通信・放送・インターネット等による講習など、補助対象となる免許状更新講習等を開設する大学等へ開設費等の補助を行う。これまでの免許状更新講習の成果と課題を踏まえつつ、更なる教師の資質能力向上に資する免許状更新講習の在り方について、調査研究を実施する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/008/hojo/1280785.htm						
実施方法	委託・請負、補助						
補助率等	補助対象: 免許状更新講習の開設者となりうる者(大学、大学共同利用機関等)、補助率: 定額補助(上限額: 2百万円)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	65.2	43.5	43.5	-	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	6.4	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	71.6	43.5	43.5	-	-	
	執行額(G)		53	41.6	36.1		
	執行率(%) =(G)/(F)		74%	96%	83%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		81%	96%	83%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)				本事業は令和4年度で終了済み。		
		(目)	-	-			
			-	-			
			-	-			
			-	-			
			-	-			
			-	-			
			-	-			
			-	-			
計(A)		-	-				

活動内容① (アクティビティ)		①山間地・離島などのへき地学校の教員を対象とした免許状更新講習、②少人数の教科・科目を担当する教員を対象とした免許状更新講習、③障害のある教員に係る免許状更新講習、④通信・放送・インターネット等による免許状更新講習、⑤現職研修と兼ねた免許状更新講習を開設する大学等への補助を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		山間地・離島、少人数教科など、開設を見込みにくい環境下にある教員に対応した免許状更新講習の開設	教員講習開設事業費等補助金による講習開設数	活動実績	件	299	253	－	－	－	
				当初見込み	件	292	214	36	－	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	開設を見込みにくい環境下における免許状更新講習の開設を国が後押しすることで、事業外で開設される免許状更新講習と合わせ、全国で免許状の更新が必要な者が円滑に更新講習を受講できる環境が整うと見込まれるため。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4 年度		
		毎年度、受講対象者が免許状更新講習を受講できるよう、十分な数の講習を開設する	免許状更新講習の受入定員充足率 (算出式: 免許状更新講習の受入予定人数÷免許状更新講習の推計受講対象者数)	成果実績	%	265	293	1,894	－		
				目標値	%	100	100	100	－		
				達成度	%	265	293	1,894	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ「免許状更新講習 受講対象者数調査」 ※令和4年度は法改正により令和4年7月1日をもって教員免許更新制が発展的に解消されたため、6月30日までに教員免許状の修了確認期限又は有効期間の満了の日を迎える者の人数を分母として計算。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	全国で免許状更新講習の円滑な受講環境が整うことにより、免許状の更新が必要な者が漏れなく更新を行うことが期待されるため。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 4 年度		
		毎年度、教員免許状の更新を希望する者が免許状更新講習を受け、免許状を更新する	免許状を更新した者の割合 (算出式: 免許状を更新(延長・延期・免除含む)した者÷更新期限を迎える者(期限前退職者及び任期満了退職者を除く))	成果実績	%	99.7	99.7	－	－		
				目標値	%	100	100	100	－		
				達成度	%	99.7	99.7	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ「免許状更新講習の修了確認状況等に関する調査」 ※令和4年度については、対象者が1,136名と極めて少数であること、「やむを得ない事由」による更新期限の延長(教育職員免許法第9条の2第5項など)により、免許状が有効な状態を継続した者が大多数であると考えられることから、教育委員会及び学校の負担軽減のため、調査を行わないこととした。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容② (アクティビティ)		教員免許更新制の円滑な実施に資するため、これまでの免許状更新講習の成果と課題を踏まえつつ、今後の更なる教員の資質能力向上に資する講習の在り方について調査研究を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		教員免許更新制の高度化に係る研究成果の収集	委託事業数	活動実績	件	1	1	-	-	-
				当初見込み	件	3	1	-	-	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	教員免許更新制の高度化に係る研究成果を国が収集し、その成果を踏まえた制度改正を行うことで、開設に係る基準が一律に改められ、質の高い免許状更新講習の開設につながることが想定されるため。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 4 年度	
		毎年度、受講者の知識技能のリニューアルに資する質の高い必修領域講習を開設する	必修領域講習の受講者による好意的評価の割合 (算出式:受講者事後評価における講習ごとの「よい」「だいたいよい」の回答率平均)	成果実績	%	93.8	92.7	-	-	
				目標値	%	90	90	-	-	
				達成度	%	104.2	103	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		免許状更新講習 事後評価結果(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/004/index.htm) ※令和4年度は法改正により令和4年7月1日をもって教員免許更新制が発展的に解消され、対象者が1,136名と極めて少数であることから、教負担軽減のため、事後評価調査を行っていない。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		教員免許更新制の高度化に係る研究成果を踏まえ、国が更新制に係る制度改正を行うことにより、直ちに当該改正内容を踏まえた更新講習の実施が求められるため、短期アウトカムと長期アウトカムの発現時期が限りなく近接することから、段階的なアウトカムを設定することができない。								

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-																													
	URL	-																													
	該当箇所	-																													
事業所管部局による点検・改善																															
点検結果	本事業は主に免許状更新講習の開発を主眼としていたが、「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」により、令和4年7月1日をもって教員免許更新制が発展的に解消されたため、令和4年度の支出実績が大幅に減少した。 予算の効率的な執行のため、教員免許状を保有するものの教職に就いていない者又は外部人材が新たに教職に入職する際に、教壇に立つ上での知識・技能の刷新等に活用できる通信・放送・インターネット等による学習コンテンツの開発支援に重点化して執行した。															目標年度における効果測定に関する評価（令和5年度実施）															
																アクティビティ①について、毎年度教員免許状の更新を希望する者が免許状更新講習を受け、免許状を更新するための環境を整えることができた。 アクティビティ②について、教員免許更新制の高度化に係る研究成果を踏まえ、選択必修領域の創設など、免許状更新講習の質の向上を実現してきた。 これらのことから、当該事業は所期の目標を達成したものと評価する。															
改善の方向性	教員免許更新制の発展的解消に伴い、主たる事業内容がなくなるため、当該事業は令和4年度限りで終了とした。 教員免許更新制の下で培われた成果（教師の学びの機会の拡大、大学による教師の資質能力の向上に対する関与の拡大、良質な学習コンテンツの形成、免許状更新講習の経験を生かした養成段階の教育の充実、教育委員会と大学との関係深化等）について、「新たな教師の学びの姿」における研修環境の構築に生かすこととする。																														
外部有識者の所見																															
外部有識者による点検対象外																															
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																															
終了予定	本事業は当初計画に基づき、令和4年度をもって予定通り終了。本事業により得られた成果については後継事業の実施等において適切に活用すること。																														
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																															
予定通り終了	本事業により得られた成果については、新たな施策の実施等において適切に活用する																														
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																														
	-																														
	上記への対応状況																														
	-																														
	その他の指摘事項																														
	-																														
	上記への対応状況																														
備考																															
調査研究成果報告URL: https://www.mext.go.jp/content/20210921-mxt_kyoikujinzai02-000018077_04.pdf																															
調査研究成果物URL: https://www.mext.go.jp/content/20230407-mxt_kyoikujinzai01-100001265_1.pdf																															
関連する過去のレビューシートの事業番号																															
平成23年度	0017																														
平成24年度	0109																														
平成25年度	0091																														
平成26年度	0094																														
平成27年度	0088																														
平成28年度	0084																														
平成29年度	0087																														
平成30年度	0087																														
令和元年度	文部科学省	-			0020																										
令和2年度	文部科学省				0023																										
令和3年度	2021	文科		20	0021																										
令和4年度	2022	文科		21	0021																										

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



